

少子高齢化社会の ライフスタイル

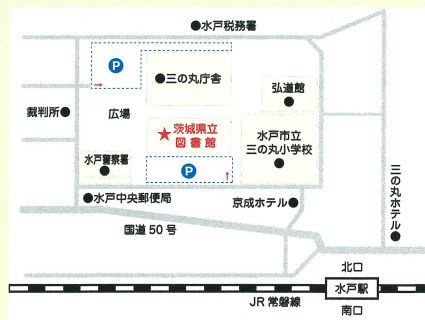
「おひとりさま社会」と社会的孤立に向き合うために

2000年に入って、一方で「おひとりさま」のライフスタイルが現実になる中で、社会的孤立や孤独死が社会的に注目されています。老老介護や自分の子どもの認知症を介護する親など2040年問題を間近にした今、高齢者のライフスタイルを一緒に考えてみたいと思います。

2026

9月12日 土 14:00 ~ 16:00

会場：茨城県立図書館 2F 視聴覚ホール



〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番地38号

- 開場時間は13時になります。開場前に会場付近へのお並びはご遠慮ください。
- 事前の申し込みは必要ありません。どなたでもご自由にお聞きいただけます。（ただし先着160名）
- できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- お車の場合は、三の丸庁舎(旧県庁舎)駐車場をご利用ください。

入場無料



講師 瀧澤 利行

茨城大学教育学部教授
放送大学茨城学習センター客員教授

茨城大学教育学部で公衆衛生学などを教えています。茨城県高齢者プラン21の作成委員会委員長や茨城県高齢者権利擁護対策推進委員会委員長など、県の高齢者対策のお手伝いもしています。

【主な著書】

『シンプル衛生公衆衛生学』南江堂
『健康文化論』大修館書店

- 主催：放送大学茨城学習センター 茨城県立図書館
- お問い合わせ：放送大学茨城学習センター
029-228-0683 〒310-0056 水戸市文京2-1-1（茨城大学構内）



放送大学茨城学習センターHP

放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新の話題を聞くことができるまたとない機会です。ぜひ御参加ください。

※都合により日程・会場・内容等が変更になる場合があります。

時間 14:00～16:00

会場 茨城県立図書館 視聴覚ホール

令和8年
6月13日(土)

「良い眼悪い眼」中高年の眼の病気

株式会社 日立製作所
日立総合病院 眼科主任医長

ヒラツカ 平塚
ケンタロウ 健太郎

眼の病気には、大きく分けて、眼鏡で矯正できる屈折異常と、眼鏡で矯正できないその他の病気があります。まずは、眼光学の基本と、近視・遠視・乱視・老眼などの屈折異常について解説します。その他の病気については、眼球の構造について説明した後、中高年に多い、白内障・緑内障・網膜剥離・加齢黄斑変性・糖尿病網膜症などの代表的疾患の症状、原因、治療法などを解説します。

7月11日(土)

認知バイアスと心の健康

モリ 森
放送大学教授

ツタコ 津太子

認知バイアスは、しばしば「認知の歪み」と呼ばれます。そのため、なくすべきものと考えられがちですが、心の健康という観点から見ると、ただなくなればよいというものではないようです。本講演では、さまざまな種類の認知バイアスを紹介しながら、どのように向き合っていくことが心の健康につながるのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

8月8日(土)

徳川斉昭の誤算ーなぜ改革は挫折したのかー

元茨城県立歴史館史料学芸部長

ナガイ 永井
ヒロシ 博

藩内改革派に推され水戸藩主となった徳川斉昭。恩師でもある会沢正志斎や側近の藤田東湖の協力のもと改革を進めていきます。その内容は目先の課題に対する対症療法的なものではなく、長期的、総合的なビジョンに基づき、最終的には藩の枠を超えて我が国が列強と肩を並べる強国を目指すという遠大なものでした。しかし、結果的に藩政改革は挫折してしまいます。改革のビジョンを紹介しながら、失敗要因を分析していきたいと思います。

9月12日(土)

少子高齢化社会のライフスタイル 「おひとりさま社会」と社会的孤立に向き合うために

茨城大学教育学部教授
放送大学茨城学習センター客員教授

タキザワ トシユキ
龍澤 利行

2000年に入って、一方で「おひとりさま」のライフスタイルが現実になる中で、社会的孤立や孤独死が社会的に注目されています。老老介護や自分の子どもの認知症を介護する親など2040年問題を間近にした今、高齢者のライフスタイルと一緒に考えてみたいと思います。

10月10日(土)

楽譜を読み解釈し、表現するとは ー声楽曲を分析し、音楽表現を考えるー

茨城大学教育学部教授
放送大学茨城学習センター客員教授

タニガワ ヨシユキ
谷川 佳幸

速度、強弱、表情記号などに沿って楽譜を正確に演奏することは大切です。ですが単に音量に大小の差をつけたり、スタッカートが書いてあるから音を短くすればよいというものではなく、作曲家の指示した記号は何を表現するために付けられたのか、なぜその音程やリズムなのかを読み解き、それを聴衆に届けるのが演奏。歌詞の付いた音楽で譜読みの基礎から学び、演技も含めて、より表情豊かな演奏をする方法について考えていきます。

令和9年
2月13日(土)

クレムリンと故宮：首都の世界遺産から 考えるユーラシア東西の大国の歴史

茨城大学人文社会科学部教授
放送大学茨城学習センター客員教授

シバヤ コウイチ
澁谷 浩一

ユーラシア東西の大国としてその関係に常に注目が集まるロシアと中国。その首都の中心部には、かつての皇帝の居城であったクレムリンと故宮（紫禁城）が現存しています。世界遺産として多くの観光客を集めるこの場所には、現在の権力者がいまなお陣取っていることにお気づきでしょうか。世界を見渡してもこのような例は他に見当たりません。本講演ではこの2つの都の歴史をモンゴル帝国の時代まで遡り、その浅からぬ因縁を紐解きます。

3月13日(土)

地質年代チバニアンー提案から承認までー

茨城大学基礎自然科学野教授

オカダ マコト
岡田 誠

2020年1月、中期更新世(約77.4万年前～12.9万年前)という地質年代区分に対して千葉県市原市の地層が基準値層として選ばれ、日本の地名にちなんだ初の地質年代「チバニアン期」が承認されました。本講演では、チバニアンの提案から承認までの過程に加え、この快挙をもたらした房総半島の地層が持つ類い稀な特徴についても紹介します。

主催

放送大学茨城学習センター 029-228-0683／水戸市文京2-1-1(茨城大学水戸キャンパス内)

茨城県立図書館 029-221-5569／水戸市三の丸1-5-38